

【アンケート集計】 計 41 件

- 講演 1（郡山市の HIV への取り組みとその現状）の研修内容はいかがでしたか？

よかった(39)

どちらともいえない(2)



- 今後の業務で役立つ内容でしたか？

役に立つ(38)

どちらともいえない(3)

感想

- ・郡山市の現状を知ることができて良かった。
- ・郡山市の HIV の現状について知ることができた。検査などを受ける方もかなりいると分かった。
- ・実際の数の多さに驚いた。本当に必要な人にアクセスする必要がある。
- ・どこの病院に HIV 陽性者が受診しているのか知りたいと思いました。
- ・啓発活動の実際や実態を知ることができた。
- ・これまで自分がエイズ、HIV の実態をよく知らなすぎたと思いました。身近なことだと改めて感じました。
- ・同じ福島県内で AIDS 患者が増えているということに驚いた。

- 講演 2（つれづれなるまま HIV/AIDS）の研修内容はいかがでしたか？

よかった(41)

- 今後の業務で役立つ内容でしたか？

役に立つ(40)

どちらともいえない(1)

感想

- ・振り返りながら、もう一度「性」について考えていきたいと思いました。
- ・7%の割合でいつ目の前で出会うかも分からない現実があるという意識を持ち、正しい知識をまずは持つということから初めていかなければならないと思った。
- ・HIV/AIDS に関する話も大変興味深かったですが、「自分の性、性って何だろう」ということを考えさせられた。
- ・セクシャルマイノリティと言われる方も割合としては 6~8%、自分たちの目の前に今までもいたかもしれない。私たちが性を意識していないことでクライエントを傷つけていたのかもしれない。知らないということ、性を意識しないことも性別や偏見の一つになると思った。今回、性について、HIV/AIDS について学ぶ機会を持つ事ができて良かったです。
- ・SWは残酷なことをしているという指摘、とても痛く感じました。性の価値観、権利を守るということ、大変勉強になりました。
- ・男と女の記入欄はトランスジェンダーの方にとって悩みになることをして自分の中で違和感を感じていなかったことに気づくことができました。ささいなことでも性について考えることができると思うので自分の価値観について考えていきたいと思った。
- ・現場の話が聞けて良かった。リアリティがあった。
- ・エイズの支援を日頃考えることはなかったが、身近な問題としてソーシャルワーカーとしてできることを考える必要があると感じた。
- ・PEP、PREP について知識がなかったため新しい発見もありました。ただ、そこに潜む闇もあるのだなと思った。
- ・セクシャルマイノリティに関する関心があり、「男性/女性」であるという区切ではなく、その人らしさをとらえていく視点が何よりも大事だと改めて実感した。
- ・HIV またセクシャルリティについて深くお話しを聞く機会が今までになかったため、とても勉強になりました。知らなかったことがほとんどで、勉強不足だったと痛感しました。この先関わるのであれば知識を活かしていけるよう、